

## 平安時代1(藤原氏の政治と国風文化)

### <平安時代の始まり>

奈良時代の仏教政策で都は寺・僧の数が増え、道鏡どうきょうのように政治に介入かいにゆうする僧も出てきました。また、奈良時代の農民は都から逃げ、税も入らなくなりました。

そこで①\_\_\_\_\_天皇は②\_\_\_\_\_ため、奈良から今の③\_\_\_\_\_に都を移しました。

まず、784年④\_\_\_\_\_に都を移しました。しかし、この都で次々に災難が起こったため、⑤\_\_\_\_\_年に⑥\_\_\_\_\_に都を移しました。(平城京と同じく、唐の都⑦\_\_\_\_\_がお手本にしています。)

この後約⑧\_\_\_\_\_年を平安時代といいます。

①天皇は、地方の政治を立て直すために、⑨\_\_\_\_\_に対する監督かんとくを厳しくしました。

また、東北地方の蝦夷えみしを撃つために、⑩\_\_\_\_\_年に⑪\_\_\_\_\_を⑫\_\_\_\_\_に任命しました。

さらに、奈良の寺院が平安京に移ることを禁止し、政治に介入せずに山奥で修行する⑬\_\_\_\_\_の⑭\_\_\_\_\_宗こうやさんこんごうぶじ(高野山金剛峯寺 和歌山県)

⑮\_\_\_\_\_の⑯\_\_\_\_\_宗ひえいざんえんりやくじ(比叡山延暦寺 滋賀県)を保護しました。

### <藤原氏の政治>

律令政治の立て直しの中で、力を強めたのは、

①\_\_\_\_\_の子孫②\_\_\_\_\_氏です。

②は天皇が幼いときは、③\_\_\_\_\_成人してからは④\_\_\_\_\_となって、天皇に変わって政治を行った。

この政治を⑤\_\_\_\_\_政治といいます。

1世紀前半に②の政治は全盛期になりました。

朝廷からの収入のほか、多くの⑥\_\_\_\_\_（貴族や寺社の私有地）をもち大きな収入を得ました。

⑦\_\_\_\_\_は「この世をばわが世よぞ思ふ・・・」という歌をよんで、権力をほこりました。

⑦の息子の⑧\_\_\_\_\_は京都の<sup>うじ</sup>宇治に⑨\_\_\_\_\_を建立しました。

⑤が行われているころ、地方の政治はかえりみられず、⑩\_\_\_\_\_にまかせきりになった。

### <平安時代の文化>

894年に①\_\_\_\_\_の意見で②\_\_\_\_\_が廃止されました。これにより、平安時代には唐の文化を消化した、新しい日本風の文化が生まれました。これを③\_\_\_\_\_文化といいます。

・貴族の屋敷に取り入れられていた建築様式を④\_\_\_\_\_造といいます。

→内部の<sup>びょうぶ</sup>屏風には、日本の絵⑤\_\_\_\_\_が飾られました。

→絵と物語を組み合わせた<sup>えまきもの</sup>絵巻物が生まれた。

・<sup>あみだぶつ</sup>阿弥陀仏にすがって、来世では<sup>ごくらくじょうど</sup>極楽浄土に生まれ変わることを願う信仰を

⑥\_\_\_\_\_といいます。

### ★平安時代の文学

漢字をもとに⑦\_\_\_\_\_文字が作られました。

・天皇の命令により、<sup>きのつらゆき</sup>紀貫之らが編集した和歌集『⑧\_\_\_\_\_』

・宮廷を舞台にした長編小説⑨\_\_\_\_\_の『源氏物語』

・随筆 ⑩\_\_\_\_\_の『枕草子』

・⑪\_\_\_\_\_の『土佐日記』

## 解答

- \* 出来るだけ漢字で書けるように練習しましょう。
- \* 資料を教科書や参考書で確認しましょう。

### <平安時代の始まり>

- ①桓武<sup>がんむ</sup> ②律令政治のたてなおしをはかる ③ 京都 ④ 長岡京 ⑤794 ⑥平安京  
⑦ 長安 ⑧400  
⑨国司 ⑩ 797 ⑪ 坂上田村麻呂<sup>さかのうえのたむらまろ</sup> ⑫ 征夷大將軍<sup>せいいたいしやうぐん</sup> ⑬空海 ⑭真言宗 ⑮最澄<sup>さいちやう</sup>  
⑯天台宗

### <藤原氏の政治>

- ①中臣鎌足<sup>なかとみのかまたり</sup> ② 藤原 ③ 摂政<sup>せつしやう</sup> ④ 関白 ⑤ 摂関<sup>せつかん</sup> ⑥ 荘園  
⑦ 藤原道長<sup>ふじわらみちなが</sup> ⑧ 藤原頼通<sup>ふじわらよりみち</sup> ⑨ 平等院鳳凰堂<sup>びやうどういんほうおうどう</sup>

### <平安時代の文化>

- ① 菅原道真<sup>すがわらのみちざね</sup> ② 遣唐使<sup>けんとうし</sup> ③ 国風 ④ 寝殿 ⑤ 大和絵<sup>やまとゑ</sup> ⑥ 浄土信仰<sup>じやうどしんこう</sup> ⑦ かな  
⑧ 古今和歌集 ⑨ 紫式部<sup>むらさきしきぶ</sup> ⑩ 清少納言<sup>せいしょうなごん</sup> ⑪ 紀貫之<sup>きのつらゆき</sup>